

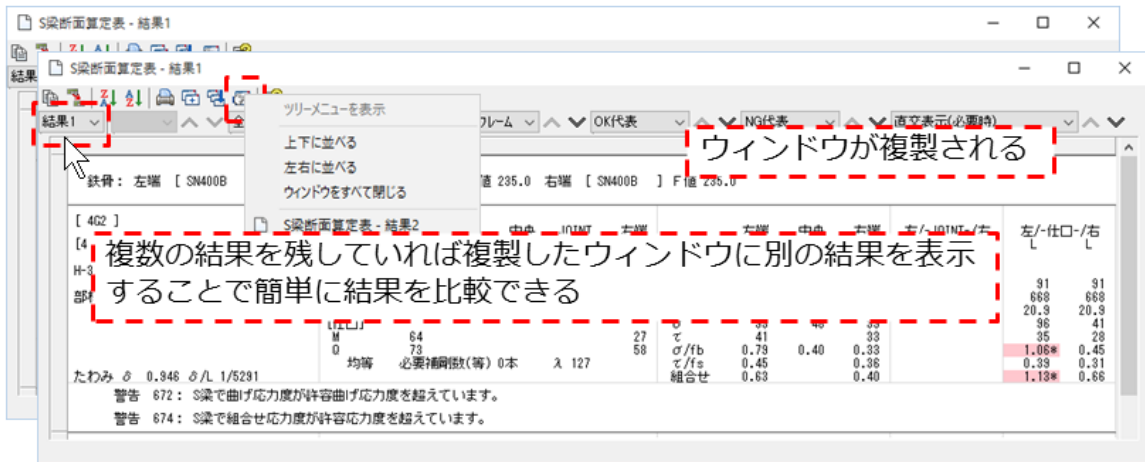
# 機能アップ項目の紹介

## 建物規模の拡張

項目	『SS3』	『SS7』
階数	98階以下	99階以下
スパン数	XY方向それぞれ49スパン以下	XY方向それぞれ99スパン以下

## 便利な機能

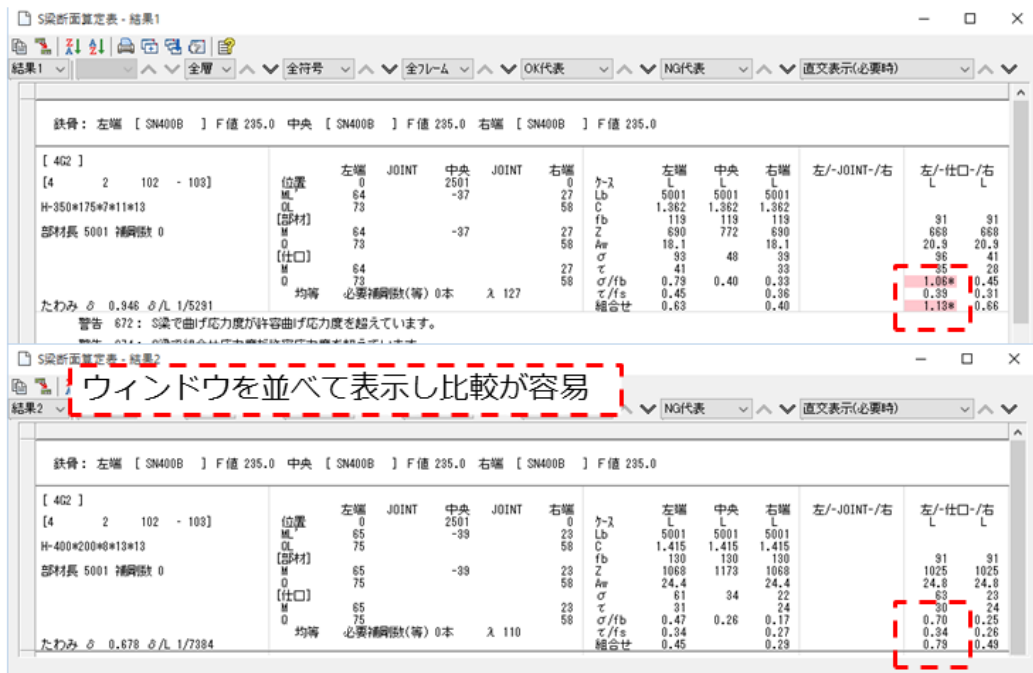
- ・結果作図、結果出力ウィンドウの複製機能



[ウィンドウ] ボタンをクリックすると、複数のウィンドウを上下、左右に並列表示できる

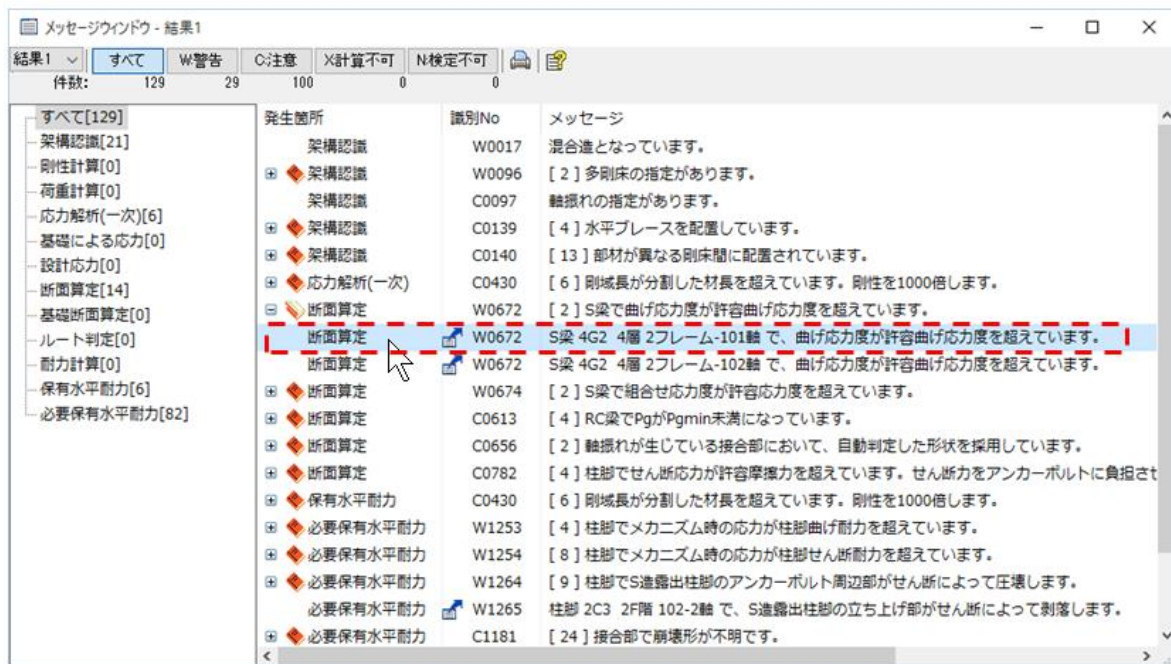
## 便利な機能

- ・結果作図、結果出力ウィンドウの複製機能



## 便利な機能

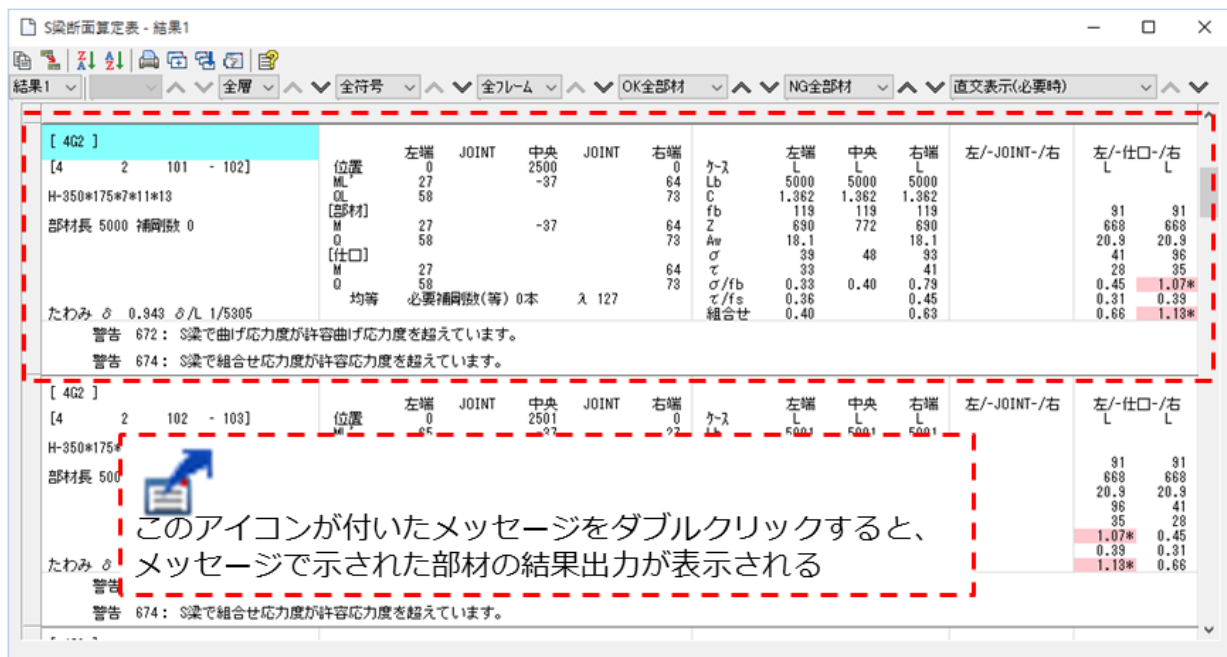
- ・メッセージから作図またはシート出力へのジャンプ機能



(C) UNION SYSTEM Inc. All rights reserved.

## 便利な機能

- ・メッセージから作図またはシート出力へのジャンプ機能



(C) UNION SYSTEM Inc. All rights reserved.

# 計算内容相違点

## 計算内容相違点

### 架構認識 & 剛性計算

No.	項目	『SS3』	『SS7』
1	構造階高	X、Y方向ごとに梁せいを平均し5cm単位で丸めた値を求め、その値の平均値の1/2を梁天から部材心までの距離から算定	標準階高と全梁心との平均距離から算定
2	構造スパン	自動計算なし	自動計算あり 通り心と全柱心との平均距離から算定
3	周囲の部材と耐震壁判定	周囲にS部材がある場合、直接指定でも耐震壁とならない	周囲にS部材がある場合、直接指定で耐震壁となる (周辺部材がダミー部材でも、直接指定で耐震壁となる)
4	腰折れ柱の腰折れ位置	構造階高からの距離を入力する	標準階高(標準梁天)からの距離を入力する
5	開口の配置領域	内接する矩形の範囲に開口の位置ができる	外接する矩形の範囲に開口の配置ができる
6	小梁の配置領域	左下の節点に取り付く梁を基準とした矩形の範囲に小梁の配置ができる	外接する矩形の範囲に小梁の配置ができる

# 特殊形状の計算内容

## 特殊形状の計算内容

多層にわたる部材の計算内容

